

金ヶ瀬さくら大橋 現場見学会

平成24年5月1日 火曜日



大河原町立金ヶ瀬小学校
大河原町
大河原地方振興事務所



金ヶ瀬さくら大橋
(完成予想図)

当事務所では、現在、大河原町金ヶ瀬地区を流れる白石川にかかる「金ヶ瀬さくら大橋」の上部工事を行っています。金ヶ瀬さくら大橋は角田市から村田町をつなぐ広域農道（仙南東部地区）の一部であり、農産物の集出荷や加工プロセスの一元化など、産地としての競争力向上を目的に施工しています。

5月1日(火)大河原町立金ヶ瀬小学校を対象に、金ヶ瀬さくら大橋の工事現場の見学会を開催しました。

金ヶ瀬さくら大橋は町民からの公募によってその名が選定された経緯もあり、今回は地域に馴染みのある橋となることを願って、大河原町・県大河原地方振興事務所が主催となり地元小学生らを招いた工事現場の見学学習会を開催しました。

当日は晴天のもと児童38名・関係者28名が参加し、さくら大橋の工事作業状況の見学や大橋に続く大谷こ線橋の歩測体験、またコンクリートでの手型づくりを行いました。

～見学会の様子～



大谷こ線橋で記念撮影



歩測の様子（こ線橋）



手型づくりの様子



工事現場
見学の様子



さくら大橋のふもとで記念撮影

参加した児童らは初めて目にする建設現場を間近にすると、興味津々の様子で作業状況を見学していました。今回見学した内容は児童達が学級新聞としてとりまとめ、学校での学習に活かされるとともに子ども達の記憶に残るものとなったことでしょう。

作成したコンクリート手型は大橋のかかる白石川堤防の護岸に配置される予定となっており、子ども達が大人になってもこの大橋に愛着を持ってくれることを願っています。